

自転車新文化の推進について

愛媛県

自転車新文化 の考え方



自転車は、買い物や通勤、通学といった移動手段だけでなく、
健康と 生きがいと 友情を もたらししてくれる。

愛媛県 自転車新文化推進課
(英語表記) Cycling Life-Style Promotion Division

はじめに

どういうきっかけで、始まったか。

- 22年12月 中村知事就任（しまなみ海道を世界に情報発信）
- 23年11月 知事が台湾 G I A N T 社 劉金標会長と面談
⇒「**自転車新文化**」の考え方を聞く
- 24年 5月 台湾 G I A N T 社 劉会長が瀬戸内しまなみ海道をサイクリング
⇒「まさに**サイリングパラダイス**」と最大級の賛辞
- 25年 9月 知事としまなみ海道サイクリング
⇒県内市町長、県議会議員、県幹部職員ほか
- 25年10月 サイクリングしまなみ プレ大会（初の高速道路を通行規制した大会）
- 26年 7月 知事と経済界サイクリング in しまなみ海道
- 26年10月 サイクリングしまなみ2014
- 27年 4月 県庁に自転車新文化推進室を創設
- 28年 3月 愛媛県自転車新文化推進協会 設立
- 28年10月 サイクリングしまなみ2016
- 29年 5月 自転車活用推進法の施行
- 30年 4月 自転車新文化推進課に格上げ
- 30年10月 サイクリングしまなみ2018
- 31年 3月 愛媛県自転車新文化推進計画（H31～R4）策定
- R元年11月 しまなみ海道がナショナルサイクルルートに第一次指定
- R2年10月 サイクリングしまなみ2020（中止）・・・**新型コロナの感染拡大を受け判断**
- R4年10月 サイクリングしまなみ2022 開催
- R5年 5月 第2次愛媛県自転車新文化推進計画（R5～R8）策定
- R6年10月 サイクリングしまなみ2024 開催

1. 愛媛県が進める自転車新文化の全体像

自転車は、買い物や通勤、
通学といった
移動手段だけでなく、
健康と 生きがいと 友情を
もたらしてくれる。

理念

自転車新文化の創造

目的

- ◆健康・生きがい・友情づくり ➡ **自転車新文化**
- ◆交流人口の拡大による地域活性化

政策目標

- ①県民みんながづくり・育てるサイクリングパラダイス
- ②交流人口の拡大による地域活性化
- ③歩行者・自転車にやさしいまちづくり
- ④シェア・ザ・ロードの精神に基づく自転車の安全利用
- ⑤サイクルスポーツの振興

施策展開

◇自転車県としてのブランド化

- サイクリストにとって特別な場所へ
- ・国際サイクリング大会の定期開催
- ・四国一周サイクリングルートの設定

◇おもてなし態勢の整備

- 交流人口の拡大
- ・愛媛マルゴト自転車道整備
- ・休憩施設（サイクルオアシス）
- ・二次交通の充実・人材育成

◇自転車利用の普及・拡大

- 県民みんながづくり・育てるサイクリングパラダイス
- ・「愛媛サイクリングの日」の創設
- ・女性、シニア、ファミリー層への普及

◇自転車の安全利用

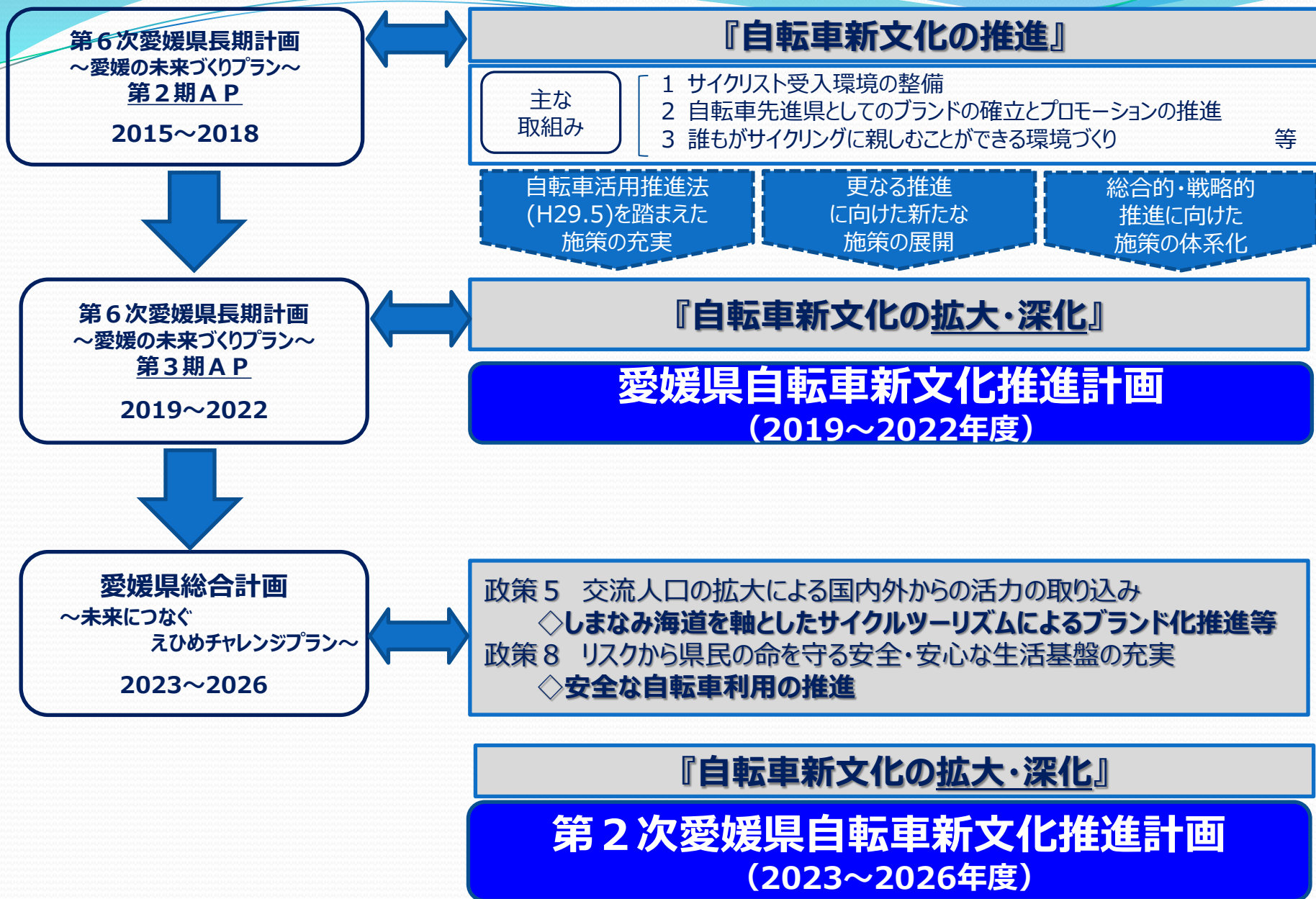
- シェアザ・ザ・ロードの啓発・拡大
- ・自転車安全利用促進条例制定
- ・自転車利用のマナーアップ

連携

推進体制の強化

- ・チーム愛媛（県・市町連携）
- ・オール愛媛（官民連携推進体制の構築）

1.1 愛媛県総合計画における自転車施策



1.2 愛媛県自転車新文化推進計画（R5年度策定）

『自転車新文化の拡大・深化』

- 【目的】 ◆健康・生きがい・友情づくり
◆交流人口の拡大による地域活性化

第2次愛媛県自転車新文化推進計画 (2023～2026年度)

目標1

県民みんなが
つくり・育てる
サイクリングパラダイス

- ①自転車利用の普及・拡大
- ②愛媛マルゴト自転車道の推進
- ③E-BIKEえひめの推進
- ④タンDEM自転車等の普及

目標2

交流人口の
拡大による
地域活性化

- ①ブランド力の向上と魅力発信
- ②受入環境・おもてなし態勢の整備
- ③公共交通機関と連携した二次交通等の充実
- ④おもてなし人材の育成
- ⑤サイクリングアイランド四国の実現をはじめとする広域連携の推進
- ⑥グレーターしまなみ・えひめ圏域形成による滞在型観光の推進

目標3

歩行者・自転車に
やさしい
まちづくり

- ①自転車を活かした都市環境の形成
- ②自転車通行空間の計画的な整備

目標4

シェア・ザ・ロードの精神に基づく自転車の
安全利用

- ①自転車安全利用の普及・啓発
- ②ドライバー等への普及・啓発
- ③自転車安全利用に係る指導者の育成
- ④ライフステージに応じた自転車安全教育の充実

目標5

サイクルスポーツ
の振興

- ①参画人口の拡大及び選手・指導者の育成による競技力向上
- ②全国規模の各種大会等誘致

1.3 推進体制

官民連携組織『愛媛県自転車新文化推進協会』

- 1 設立 平成28年3月30日
- 2 目的 当協会は、団体や企業、個人、行政が一体となって、自転車を通じて健康、生きがい、友情を育む「自転車新文化」の普及・拡大に取り組むことにより、交流人口の増大等を図り、もって地域の活性化に寄与することを目的としています。
- 3 事業内容
 - (1)「愛媛サイクリングの日」等による自転車新文化の普及活動
 - (2)情報発信・誘客促進（サイクリングプロモーション）
 - (3)自転車の安全利用の普及啓発 ほか
- 4 会員種別 会員：企業・団体等(年会費1口5万円) サポーター：個人（登録のみ）
- 5 会員数 149社、団体（R6.4現在） サポーター 125人

愛媛県自転車新文化推進基金の設置

- 1 設置 平成28年4月1日
- 2 目的 県民・県内外の企業団体からの寄附を活用して、自転車新文化の普及・拡大を図る。
- 3 申出状況 累計 65件 39,784千円[大会協賛:36件 17,420千円、自転車新文化:27件 22,364千円]

民間応援組織『サイクリングパラダイス えひめ推進会議』

- 1 会員数 423社(平成26年9月29日設立)
- 2 事業内容
 - (1)サイクリングイベントのサポート
 - (2)休憩所やトラブルサポート体制の充実への協力
- 3 事務局 愛媛県商工会議所連合会ほか

県・市町連携『県・市町連携推進本部』

- 1 メンバー 知事、県内市町長
- 2 取り組み
重点連携項目として「自転車新文化」を推進
 - (1) 愛媛サイクリングの日の創設
 - (2) サイクリングガイドの養成講習会の実施 ほか

1.4 自転車新文化ステージ別施策(段階的な施策展開)

第1ステージ

しまなみ海道をサイクリストの聖地へ

(構想始期：2012年度～)



- 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」開催による国内外への強力なプロモーションの実施
- 安全・快適な自転車走行環境の整備や、利便性向上など、しまなみ海道を国内外のサイクリストのみならず、誰もが訪れたい地域へ

▶サイクリストの聖地としての認知の獲得と地位確立

第2ステージ

愛媛をサイクリングパラダイスへ

(構想始期：2012年度～)



- ブルーラインの整備などによる自転車通行空間の確保や、県下全域における28のサイクリングコースによる「愛媛マルゴト自転車道」を整備
- 自転車の安全利用を図り、歩行者・自転車・自動車等が、思いやりの気持ちを持ち安全に譲り合う「シェア・ザ・ロード」の啓発等により、愛媛全体を誰でもサイクリングを楽しめる地域へ

▶自転車施策のフロントランナーとしての地位確立

第3ステージ

四国をサイクリングアイランドへ

(構想始期：2017年度～)



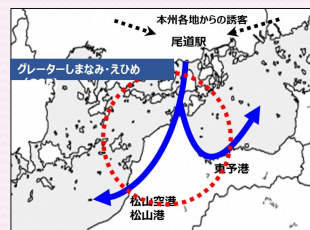
- 「サイクリングアイランド四国」実現のため、官民が一体となって、四国の魅力向上並びに交流人口の拡大を図り、地域を活性化
- 四国一周サイクリングルートの整備や受入体制の充実、プロモーション活動を展開

▶サイクリングを利用した四国の新たな文化と魅力の創出

第4ステージ

瀬戸内地域を世界に認められるサイクリング推進エリアへ

(構想始期：2022年度～)



- しまなみ海道と隣接する本県側陸地部の交通結節点を結んだエリア内に、広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」(GSE)を形成
- サイクリングを切り口として、本県側の多彩な体験型コンテンツや宿泊施設等を活用した仕掛けづくりのほか、利便性や満足度の向上に資する環境整備に取り組むことで、広島側からの人流を引き込み、通過型から「滞在型」観光への転換を促進

▶「認知の獲得」から「実需の創出」ステージへの飛躍

2. 自転車新文化推進のための主な施策

自転車県としてのブランド化

サイクリストにとって 特別な場所へ

- ・「サイクリストの聖地」しまなみ海道での
国際サイクリング大会の定期開催
- ・ナショナルサイクルルートの設定
- ・四国一周サイクリングルートの設定
- ・おもてなしサポーター制度 etc.



おもてなし態勢の整備

愛媛の自転車が熱い 国内外から観光客を誘客し交流人口を拡大

- ・愛媛マルゴト自転車道
- ・乗り捨て可能なレンタサイクル
- ・休憩施設（サイクルオアシス）
- ・サイクルレスキュー
- ・サイクルトレイン、サイクルバス
- ・きめ細かな情報提供・えひめFreeWi-Fiの整備
- ・サイクリングガイド等の人材養成 etc.



自転車利用の普及・拡大

県民みんなが作り・育てる サイクリングパラダイス

- ・「愛媛サイクリングの日」の創設
- ・女性、シニア、ファミリー層への普及啓発
女性サイクルユニットによる情報発信
アクティブシニアスポーツ自転車体験会
子ども向けサイクルスクール
自転車通勤の促進
- ・タンDEM自転車の走行
- ・自転車競技の開催による魅力発信 etc.



自転車の安全利用

誰もが安心・安全に自転車利用 シェア・ザ・ロードの啓発・拡大

- ・自転車安全利用促進条例の浸透
- ・自転車安全利用セミナー
- ・高校生・外国人等の自転車利用マナーアップ
- ・思いやり1.5m運動（ドライバーの配慮）
- ・ヘルメット着用の推進
- ・自転車保険加入促進 etc.



2.1.1 ブランド力の向上と魅力発信

高速道路や瀬戸内の美しい島々を舞台に行う国際サイクリング大会

■サイクリングしまなみ2024

開催日：6年10月27日（日） 参加者：国内外の3,446人

（国内：47都道府県、海外：27の国と地域から479人）

大会コース：8コース

交通規制：しまなみ海道本線

○区間：今治 I C～尾道大橋出入口 上下線

○期間：最大6：00～12：00（6時間）

■サイクリングしまなみ2022

開催日：4年10月30日（日） 参加者：国内外の6,371人

（国内：46都道府県、海外：33の国と地域から180人）

■サイクリングしまなみ2018

開催日：30年10月28日（日） 参加者：国内外の7,215人

（国内：47都道府県、海外：26の国と地域から701人）

■サイクリングしまなみ2016

開催日：28年10月30日（日） 参加者：国内外の3,539人

（国内：47都道府県、海外：9の国と地域から251人、今後2年ごとに開催）

■サイクリングしまなみ2014

開催日：26年10月26日（日） 参加者：国内外の7,281人

（国内：46都道府県、海外：31の国と地域から525人）

○サイクリングしまなみの特徴

- 高速道路を走行するサイクリング大会
- 世界有数のサイクリングコースを使ったイベント
- しまなみ海道の絶景を堪能する多彩なコース設定
- 瀬戸内の島ならではの「おもてなし」



2.1.2 台湾との交流ほか

○台湾・日月潭と瀬戸内しまなみ海道との姉妹自転車道協定締結

瀬戸内しまなみ海道のブランド力向上と台湾との交流人口拡大のため、26年10月25日に台湾・日月潭サイクリングコースとの姉妹自転車道協定を締結

○愛媛県と台北市 国際交流促進覚書締結

28年5月18日に覚書を締結し、国際交流活動を協力して取り組む分野として、「愛媛マルゴト自転車道と台北市全自転車道を核としたサイクリング分野における相互交流」を掲げた。

○愛媛県と台中市 国際交流覚書締結

29年6月1日に覚書を締結し、国際交流活動を協力して取り組む分野として、「サイクリングを通じた相互交流」を掲げた。

○愛媛県自転車新文化推進協会と台湾自行車新文化基金會との友好交流協定の締結

29年3月9日に、四国一周、台湾一周のサイクリングを核にしたサイクリング交流を拡大・発展させるために交流協定に調印した。

○商標登録

- 「サイクリストの聖地（平成28年8月19日）」
- 「サイクリングパラダイス（平成28年7月1日）」



姉妹自転車道協定調印式（26年10月25日）

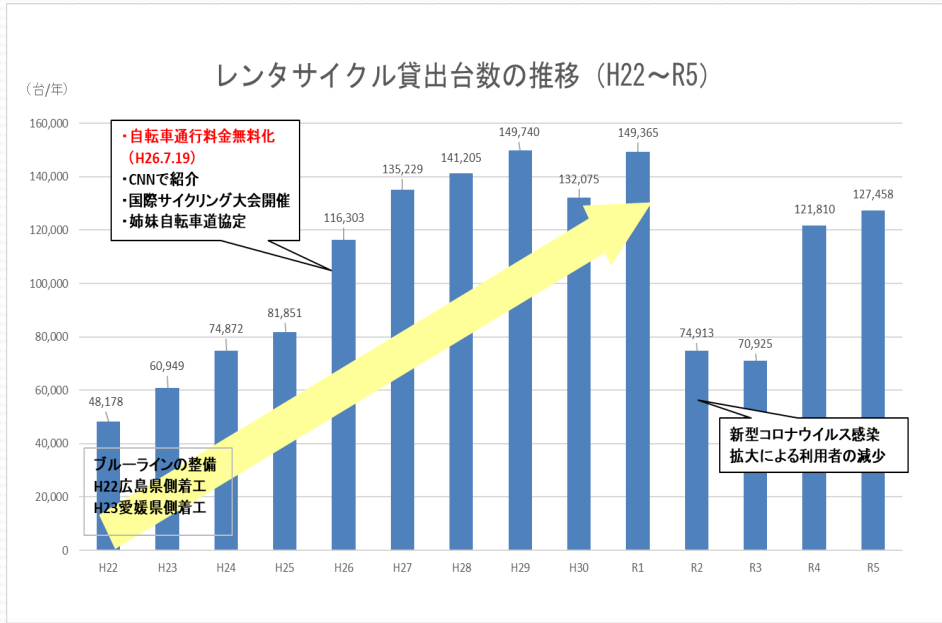


サイクリストの聖地碑（多々羅しまなみ公園）

自転車県としてのブランド化

2.1.3 しまなみ海道のPR効果

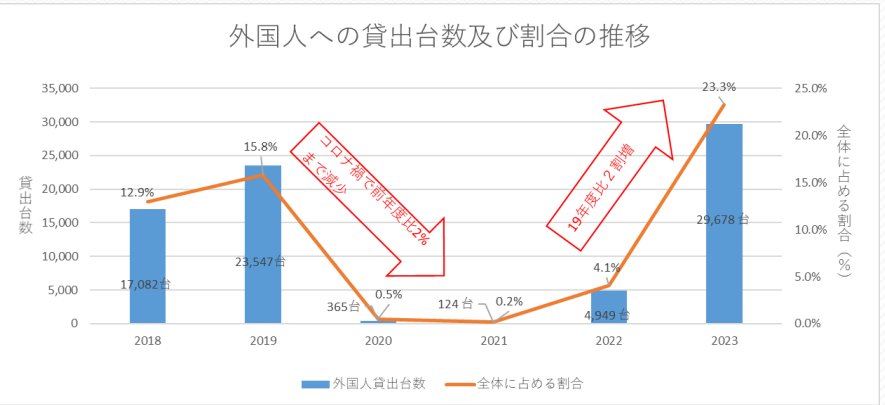
○瀬戸内しまなみ海道のレンタサイクル貸出台数



- レンタサイクルの貸出台数は、
- 自転車通行料金の無料化
 - CNNで世界 7 大サイクリングコースの 1 つとして紹介
 - 台湾のサイクリングコースと姉妹自転車道協定の締結
- 等の効果もあり、H29年度はH22年度の約 3 倍に増加
※H30年度推計値
- ➡33万人のサイクリストが来訪

しまなみ海道の自転車通行料金の無料化は、令和 8 年 3 月
末まで延長

◇うち外国人の占める割合



◇国別の状況

国 名	2019	
	台数	前年対比
台湾	2,749	1.24
オーストラリア	2,217	1.56
アメリカ合衆国	2,172	1.40
フランス	1,933	1.41
香港	1,907	1.03
イギリス	1,889	1.92
ドイツ	1,504	1.79
オランダ	1,057	1.40
カナダ	974	1.77
中国	825	0.92
シンガポール	560	1.28
スイス	544	1.13
韓国	150	0.50
その他	5,066	

国 名	2023	
	台数	19年対比
アメリカ合衆国	3,973	1.83
オーストラリア	2,726	1.23
フランス	2,586	1.34
イギリス	2,520	1.33
ドイツ	2,476	1.65
台湾	2,452	0.89
カナダ	1,711	1.76
オランダ	1,374	1.30
中国	998	1.21
スイス	853	1.57
香港	756	0.40
シンガポール	688	1.23
韓国	336	2.24
その他	6,229	

2.1.3 しまなみ海道のPR効果

○CNNテレビで世界7大サイクリングルートの一つに選定

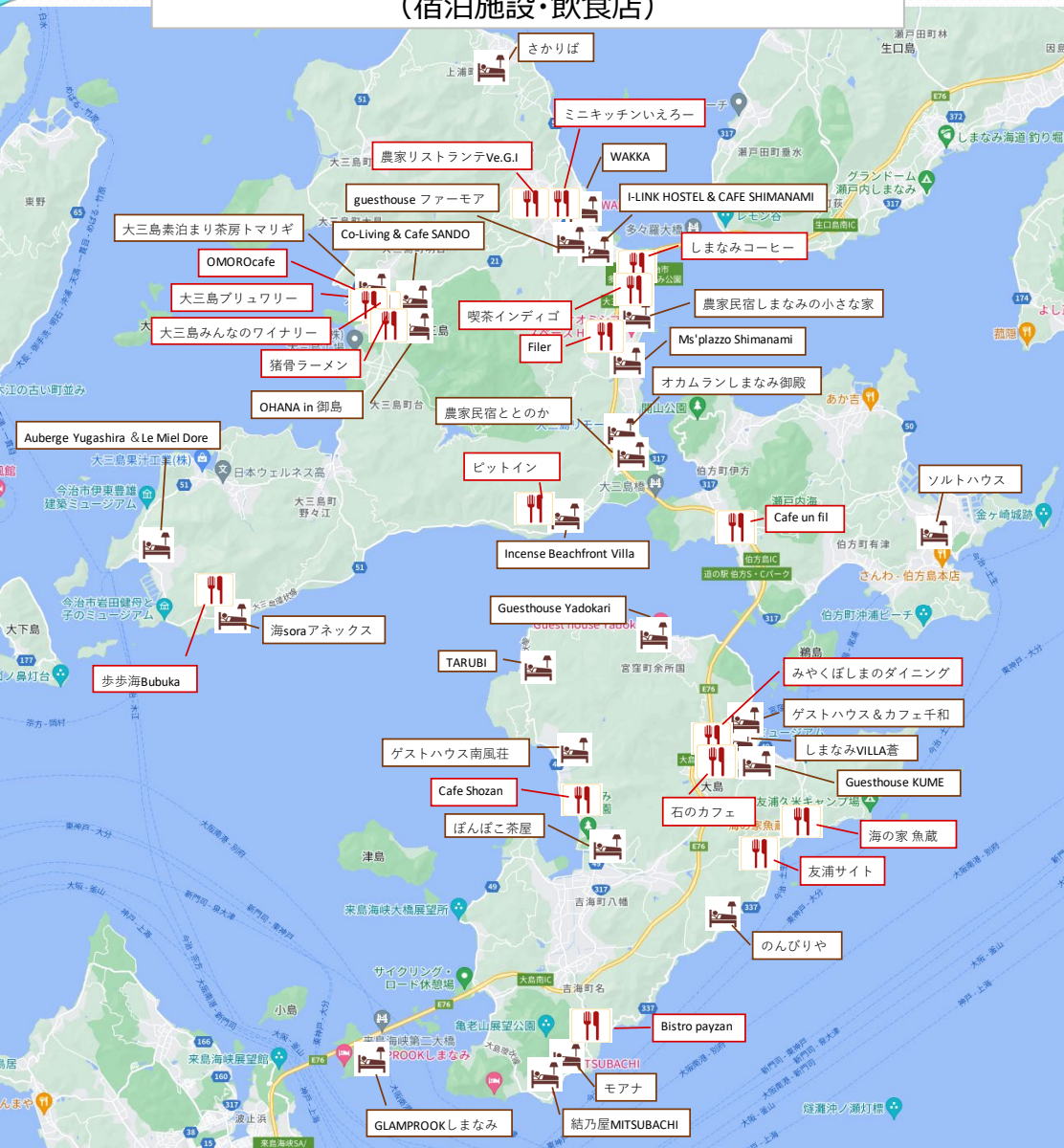
アメリカのCNNテレビ 旅行情報サイトで『世界で最もすばらしい7つの自転車道』の1つとして紹介(H26.5)



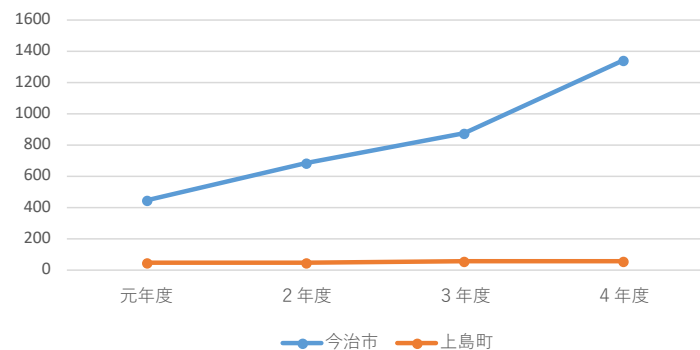
○ロンリープラネット社のガイドブックで世界50選の一つに選定 (H28.10)

世界的に有名な豪の旅行ガイド本会社ロンリープラネットの「世界の魅力的なサイクリングルート50選」のガイドブックに、日本で唯一瀬戸内しまなみ海道が掲載

2.1.3 しまなみ海道のPR効果

しまなみ海道（大島、伯方島、大三島）へ新規出展状況
（宿泊施設・飲食店）

しまなみ沿線への移住者推移



	元年度		2年度		3年度		4年度	
	人数		人数		人数		人数	
	人	対県比	人	対県比	人	対県比	人	対県比
今治市	443	23.2%	685	27.8%	869	17.7%	1,335	18.6%
上島町	42	2.2%	46	1.9%	52	1.1%	56	0.8%
県全体	1,909		2,460		4,910		7,162	

	人口	
	2023/6/1 推計	
	人	対県比
今治市	145,508	11.2%
上島町	6,190	0.5%
県全体	1,294,925	

2.1.4 ナショナルサイクルルートの指定

- ◆日本を代表し、**世界に誇りうるサイクリングロードについて、国内外へPRを図る**ことを目的に国が制度を創設（R1.9.9）
- ◆指定要件の「ルート設定」、「走行環境」、「受入環境」、「情報発信」、「取組体制」の5つの観点から第三者委員会で審査



○第1次ナショナルサイクルルート（R1.11.7指定）

名 称	延 長	起終点及び経過地
つくば霞ヶ浦りんりんロード	176km	自：茨城県桜川市 JR岩瀬駅 至：茨城県潮来市 水郷潮来バスターミナル
ビワイチ	193km	自：滋賀県大津市 瀬田唐橋 至：滋賀県大津市 瀬田唐橋 (琵琶湖岸一周(反時計回りの一方通行))
しまなみ海道サイクリングロード	70km	自：広島県尾道市 JR尾道駅 至：愛媛県今治市 サンライズ糸山

○第2次ナショナルサイクルルート（R3.5.31指定）

名 称	延 長	起終点及び経過地
トカプチ400	403km	自：北海道帯広市 JR帯広駅 至：北海道帯広市 JR帯広駅 (帯広市を起終点とし上士幌町から大樹町までを8の字で結んだルート)
太平洋岸自転車道	1,487km	自：千葉県銚子市 銚子駅 至：和歌山県和歌山市 加太港
富山湾岸サイクリングコース	102km	自：富山県氷見市脇 至：富山県朝日町境

2.1.5 サイクリングアイランド四国の実現

四国一周1,000kmルート設定・走行環境整備

1. 四国一周1,000kmルートの設定

- 専門家監修のもと、実走調査等の検証を踏まえ、安全性やサイクリスト目線に配慮するとともに、ホテルや立ち寄りスポット等も調査して設定（平成30年3月）



2. 四国一周マップ製作（4県連携事業）

- 四国4県で連携し、「サイクリスト視点」と「トリップアドバイス視点」の両方を兼ね備えた4県のマップを製作（H30.10）



愛媛スタート編



高知スタート編

3. 四国一周路面案内ピクトの整備

〔サイクリングアイランド四国推進協議会〕

- 第1回協議会：四国一周を目指すサイクリストが走行中に迷わないよう、路面案内ピクトの統一デザインを決定（H30.5.23）
- 第2回協議会：平成31年度までに、5km間隔を目安に敷設を完了する整備計画を決定（H30.10.30）
- 令和元年度に整備完了



路面案内ピクト



整備開始セレモニー
(H30.12.12松山市)

2.1.5 サイクリングアイランド四国の実現

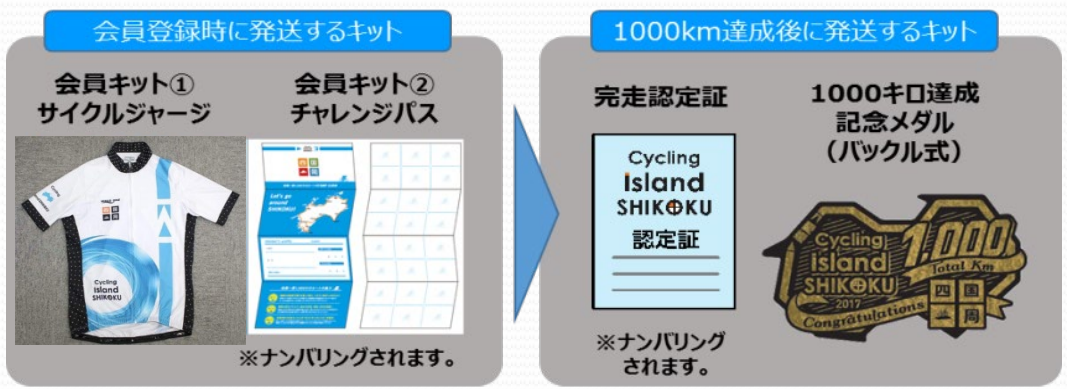
CHALLENGE1,000kmプロジェクト (H29～)

四国一周サイクリストの登録

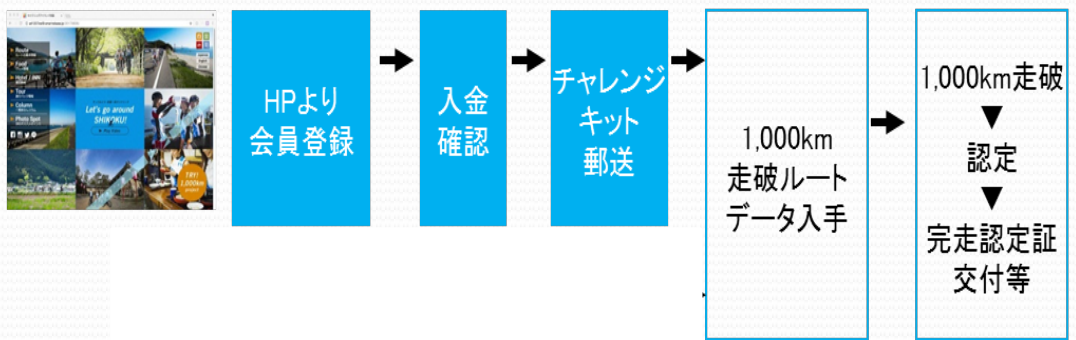
- 公式ジャージにより可視化
- 公認の完走認定証等の交付

**サイクリストの達成感を高め
「四国一周サイクリング」の
認知度を向上**

「チャレンジキット」 海外からの申し込みにも対応



「挑戦フロー」 チャレンジ期間3年



■登録者数：4,914名（うち完走者：2,238名）

※ R6.7月末現在（H29.11.22登録開始）

地域別	エントリー数	完走者数	エントリー割合	完走割合
愛媛県	841	377	17.1%	44.8%
大阪府	447	207	9.1%	46.3%
東京都	439	214	8.9%	48.7%
兵庫県	305	131	6.2%	43.0%
広島県	267	115	5.4%	43.1%
香川県	259	110	5.3%	42.5%
神奈川県	253	128	5.1%	50.6%
愛知県	215	104	4.4%	48.4%
岡山県	191	81	3.9%	42.4%
高知県	161	58	3.3%	36.0%
徳島県	136	48	2.8%	35.3%
埼玉県	129	58	2.6%	45.0%
台湾	136	99	2.8%	72.8%
京都府	115	48	2.3%	41.7%
千葉県	99	47	2.0%	47.5%
福岡県	106	40	2.2%	37.7%
奈良県	73	31	1.5%	42.5%
静岡県	53	25	1.1%	47.2%
岐阜県	51	26	1.0%	51.0%
香港	65	32	1.3%	49.2%
和歌山県	42	17	0.9%	40.5%
滋賀県	41	27	0.8%	65.9%
山口県	37	23	0.8%	62.2%
北海道	36	23	0.7%	63.9%
長野県	32	14	0.7%	43.8%
茨城県	31	15	0.6%	48.4%
島根県	29	19	0.6%	65.5%
鳥取県	33	5	0.7%	15.2%
三重県	26	10	0.5%	38.5%
栃木県	26	10	0.5%	38.5%
石川県	21	9	0.4%	42.9%
大分県	23	6	0.5%	26.1%
富山県	18	8	0.4%	44.4%
沖縄県	17	7	0.3%	41.2%
群馬県	15	5	0.3%	33.3%
宮城県	14	5	0.3%	35.7%
宮崎県	12	4	0.2%	33.3%
山梨県	10	5	0.2%	50.0%
新潟県	10	2	0.2%	20.0%
熊本県	11	3	0.2%	27.3%
福井県	8	4	0.2%	50.0%
鹿児島県	10	6	0.2%	60.0%
岩手県	7	5	0.1%	71.4%
秋田県	7	2	0.1%	28.6%
シンガポール	6	3	0.1%	50.0%
長崎県	6	2	0.1%	33.3%
山形県	6	2	0.1%	33.3%
青森県	5	4	0.1%	80.0%
佐賀県	5	3	0.1%	60.0%
福島県	6	1	0.1%	16.7%
ドイツ	4	0	0.1%	0.0%
韓国	4	1	0.1%	25.0%
中国	9	6	0.2%	66.7%
フランス	1	1	0.0%	100.0%
アメリカ	1	1	0.0%	100.0%
カナダ	1	0	0.0%	0.0%
スイス	1	0	0.0%	0.0%
オーストラリア	1	0	0.0%	0.0%
バルクレー	1	1	0.0%	100.0%
合計	4,914	2,238	-	45.5%

性別	エントリー数	割合
男性	4,300	87.5%
女性	614	12.5%

■年代別		
年代	エントリー数	割合
10代未満	6	0.1%
10代	258	5.3%
20代	865	17.6%
30代	752	15.3%
40代	1238	25.2%
50代	1138	23.2%
60代	550	11.2%
70代	100	2.0%
80代	2	0.0%
不明	5	0.1%

■国内の地域別割合		
地域	エントリー数	割合
北海道	36	0.8%
東北	45	1.0%
関東	992	21.2%
中部	444	9.5%
近畿	1,023	21.8%
中国	557	11.9%
四国	1,397	29.8%
九州	190	4.1%
合計	4,684	—

■ 国別の割合		
地域	エントリー数	割合
日本	4,684	95.3%
台湾	136	2.8%
香港	65	1.3%
シンガポール	6	0.1%
ドイツ	4	0.1%
韓国	4	0.1%
中国	9	0.2%
アメリカ	1	0.0%
オーストラリア	1	0.0%
カナダ	1	0.0%
スイス	1	0.0%
バルウェー	1	0.0%
フランス	1	0.0%
合計	4,914	—

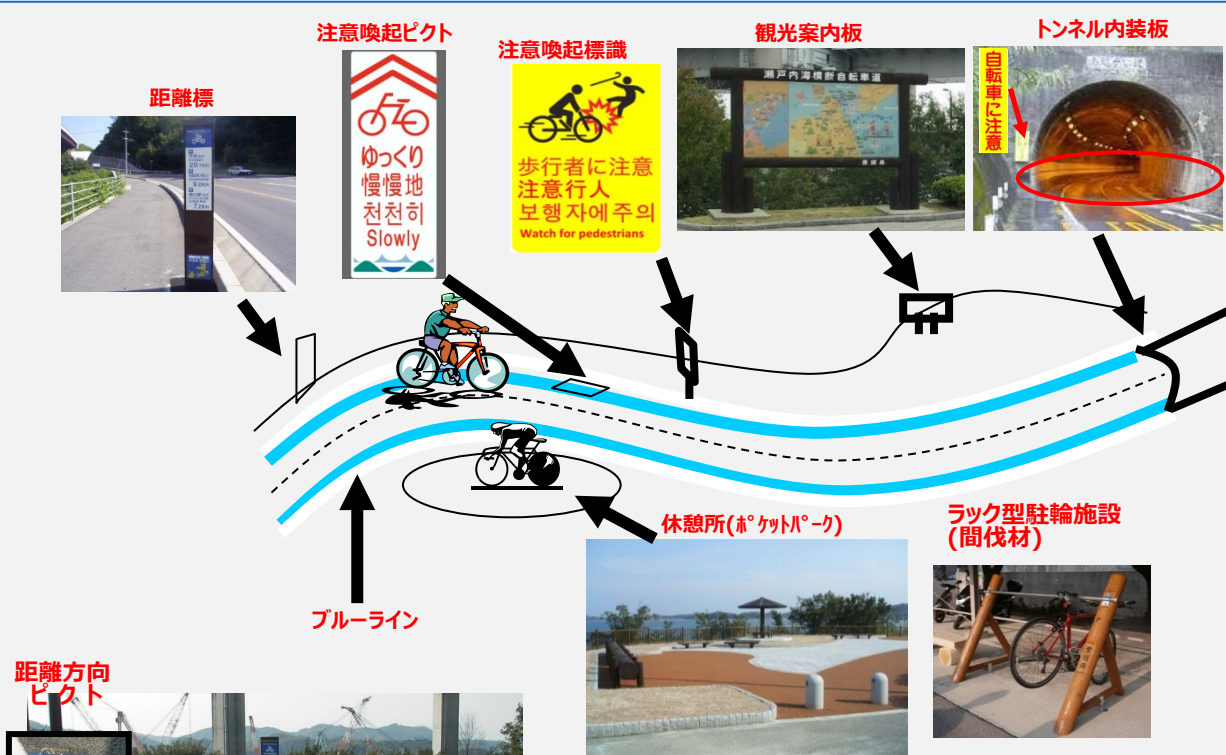
全20市町で設定

ファミリー向けサイクリングコース(17コース)

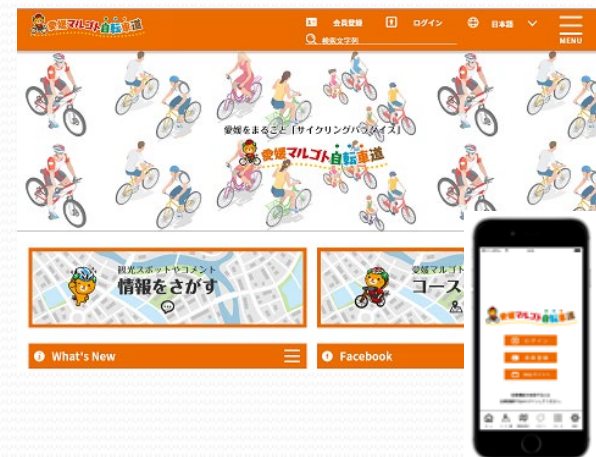


2.2.1 愛媛マルゴト自転車道の推進

○愛媛マルゴト自転車道の整備内容



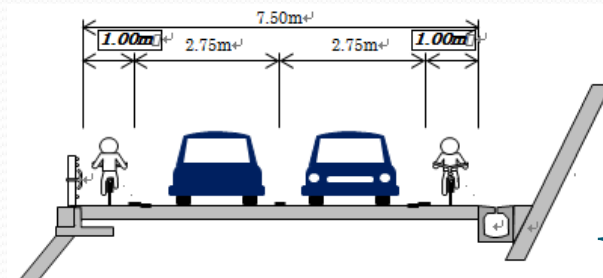
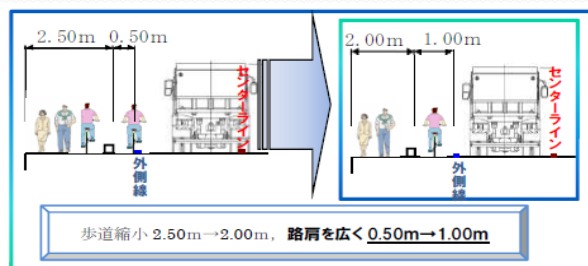
○愛媛マルゴト自転車道サービスサイト



県内各地のサイクリングコースを動画やマップで紹介。サイクリストがコース評価やお勧めスポットを投稿できる参加型のサイト及びアプリ

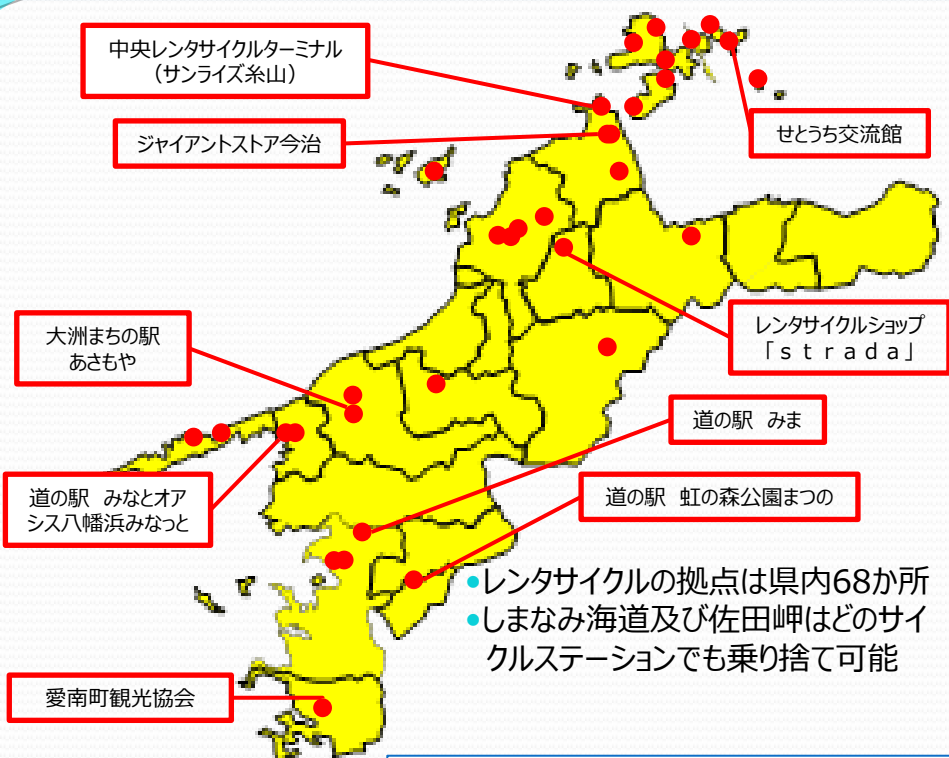
○サイクリストに安全な走行区間を！ ～路肩の拡幅～

○幅員を再配分し、路肩を1.0m以上に拡幅 ○新規整備箇所、1.0m以上の広幅路肩を設置



2.2.2 受入れ環境の充実

○レンタサイクル



○自転車チューブ 自動販売機



パンク時に必要なタイヤチューブを自動販売機で販売

○公共交通機関等での主なサービス

- 【松山空港】手ぶら観光サービス
自転車梱包用段ボール預り
サイクルステーション
更衣室
- 【松山観光港】道後温泉手ぶら観光便
- 【東予港】船内荷物預かりサービス
サイクルステーション
- 【JR四国】輪行袋レンタルサービス
手ぶら観光サービス

○サイクリストの休憩施設 サイクルオアシス

【概要】サイクリストのための休憩施設

空気入れ、水、トイレ、ベンチ（休憩設備）及び情報を無償提供し、地域と交流できる施設

※平成23年度にしまなみエリアから整備が始まり、現在、県内全域でサイクリスト向け休憩所の整備を進めている。

【中予エリア】(91か所)

松山市：36か所
伊予市：13か所
東予市：13か所
久万高原町：15か所
松前町：5か所
砥部町：9か所

【南予エリア】(83か所)

宇和島市：17か所
八幡浜市：10か所
大洲市：11か所
西予市：10か所
内子町：10か所
伊方町：9か所
松野町：6か所
鬼北町：11か所
愛南町：9か所

【今治・しまなみエリア】 (県内106か所)

※尾道市にもあり
今治市：86か所
上島町：20か所

【東予東部エリア】(83か所)

新居浜市：24か所
西条市：40か所
四国中央市：19か所

【全域】コンビニサイクルオアシス(61か所) ※広島県尾道市5店舗含む

【合計】(434か所)

(令和6年3月末現在)

○トラブル発生時の強い味方「サイクルレスキュー」

サイクリング中のトラブル時の応急処置や搬送（有償または無償）などに協力してくれる施設。

それぞれの本来業務、専門性、特技などを活かした、可能な範囲での対応をお願いし、多くの店舗や施設などの協力で実施。

2.2.3 二次交通等の充実

2.2.4 おもてなし人材の育成

○サイクルトレイン

JR四国、伊予鉄道と連携し、自転車を電車で直接持ち込むことができるサイクルトレインを運行

○えひめ・しまなみリンクトレイン

(JR予讃線 松山駅～今治駅～西条駅 混乗試験)

○JR予土線(宇和島駅～窪川駅(高知県))混乗試験

○サイクルトレイン愛ある伊予灘号(JR予讃線 松山駅～大洲駅)

○伊予鉄道サイクルトレイン(郊外電車3路線 土日祝)



○サイクルバス

○ジェイアール四国バス：なんごくエクスプレス号(松山～高知)
輪行可能、久万高原線で運行

○伊予鉄道：松山～三崎特急線、面河線で運行
解体せずに自転車を積載できる専用バスの開発



○サイクリングガイドの養成

- サイクリング観光客をサポートするガイドを養成するため、「サイクリングガイド養成講習会」を開催
- 全国共通の資格者の養成(H27～R元)
 - (公財)日本サイクリング協会公認ガイド 26名
 - (一社)日本サイクリングガイド協会クラス認定 23名
- 地域実情に対応した愛媛県版サイクリングガイドクラス認定制度導入(R2年度～)
 - クラス認定者：93名
- サイクリングガイドとして県内サイクリングやイベント等の業務に招聘



◇今後は、サイクリングガイドの裾野の拡大・レベル向上とともに、活用体制の構築を図る。



座学講習



実技講習

2.3.1 愛媛サイクリングの日

○愛媛サイクリングの日

・27年度に「愛媛サイクリングの日」を創設※11月の第2日曜日

・県内20市町で一斉にサイクリングイベントを開催

【R6年度は、11月10日（日）開催】（天候：小雨）

・参加者 約5,860人

○協会主催イベント

（スポーツ自転車市場体験や飲食ブース等の出展）

○サイクリング大会

○自転車関連イベント（子ども向け自転車教室等）

○サイクリストおもてなし

○レンタサイクル無料 等



2.3.2 女性・シニア・ファミリーへの啓発

○女性サイクリングコミュニティサイト「ひめクル」

サイクリングに興味はあるけど一歩踏み出せない女性など向けのコミュニティで、会員同士がおしゃれなカフェやおすすめスポットなどの情報交換を行い、サイクリングに親しみ・楽しんでもらう。



○アクティブシニアサイクリング

高齢者を対象に、スポーツサイクル安全技能講習、スポーツサイクルの試乗、サイクリング体験等を実施。サイクリングを通じた生きがい、健康づくりを普及啓発

- スポーツサイクル安全技能講習
- スポーツサイクルの試乗
- サイクリング体験



○ホームページ、SNS等による自転車新文化の発信

自転車初心者を対象としたホームページやSNSを開設し、自転車に関する情報発信や、女性サイクルユニットの日々の活動を報告

ポータルサイトとして、ノッてる! えひめを開設



○みきゃんサイクルスクール(子ども向け自転車教室)

未就学児又は小学生を対象とした、操作技術や正しい交通安全・マナー等の知識の向上を図ることを目的とした、愛媛オリジナルのスクールを開校

- ・「自転車に乗ることが楽しい」という感情を子どもたちに喚起させ、サイクリングを通じて自転車新文化の普及・啓発を図る。



○県内公道でタンDEM自転車の走行が可能に

22年に「愛媛県道路交通規則」を改正し、県内全域において、2人乗りタンDEM自転車による一般道路の走行が可能に。

※R5年4月に東京都が可能となり全国でタンDEM自転車が公道全般を走行できるようになった。



2.3.3 E-BIKEえひめの推進

E-BIKEアクションしまなみ

サイクリストの聖地「しまなみ海道」からE-BIKEの魅力を発信し、E-BIKEでの新しいサイクリングライフを提案するプロジェクト「E-BIKEアクションしまなみ」を始動。（R元.7.3発表）

「E-BIKEアクションしまなみ」魅力発信ポイント

◆サイクリングに興味があっても踏み出せなかった

- ① "体力に自信のない人、運動習慣がない人でもラクラク、楽しくサイクリング"
- ② "手軽に運動、気分転換もできて心身ともにリフレッシュ"

◆グループで走るとペースが合わず一緒にサイクリングをあきらめていた方たちも、体力差を補えるから、

- ③ "ご夫婦やカップル、職場のグループでもサイクリングが共通の趣味に"

◆今まで行けなかった難易度の高いルートへもチャレンジできるため、

- ④ "体力に自信がなくても激坂にチャレンジ！登った先の絶景を満喫"

◆車で行けない場所も小回りの利くE-BIKEであれば、

- ⑤ "細い道や路地も楽しく散策、地域の魅力を再発見"



連携



2.4.1 自転車の安全利用

○愛媛県自転車安全利用促進条例

「愛媛県自転車の安全な利用の促進に関する条例」を25年7月に施行

歩行者・自転車・自動車等がお互いの立場を思いやり、道路を共有する、いわゆる「シェア・ザ・ロード」の精神が基本理念

自転車利用者が推進すべき事項として、

- 乗車用ヘルメットの着用
- 歩道や路側帯を通行するときは、車道左側に設置されている歩道や路側帯を通行すること
- 歩行者が頻繁に通行する歩道においては、自転車を押して歩くことなどを規定
- 令和5年4月1日から改正道路交通法が施行されることにより、ヘルメットの着用が努力義務化



愛媛県警バイシクルユニット

○自転車保険の加入促進

自転車利用者に自転車保険への加入に努めるため、

- 県内銀行（2行）窓口での自転車保険の販売開始
 - 自転車販売店やレンタサイクル業者に対し、自転車保険に関するポスター掲示やチラシ配布を要請
 - サイクリングイベントや交通安全教室における広報啓発
 - 損保会社に対し、自動車保険付帯型の自転車保険（特約）への加入を促すダイレクトメールを自転車利用者へ送付するよう要請
- に取り組む。

- 令和2年4月1日から義務化（条例改正）

○思いやり1.5m運動

27年11月15日（愛媛サイクリングの日）から「思いやり1.5m運動」を開始

自動車等の運転者に対し、自転車の側方を通過するときは“1.5メートル以上の安全な間隔を保つ”か、道路事情等から安全な間隔を保つことができないときは“徐行する”ことを呼び掛けている。



○マナーアップ

- 外国人を対象とした日本の交通ルールに関する講習会の開催
- 高校生自転車交通マナー向上委員会の開催
- 自転車交通マナー向上対策実践指定校の指定
- しまなみ海道におけるマナーアップ標語板の設置



2.4.1 自転車の安全利用

○自転車ヘルメット着用の促進

27年7月から県立学校で自転車通学する生徒のヘルメット着用を義務化し、全生徒にヘルメット（3万個）を無償で配布

27年9月から「自転車乗車用ヘルメット着用モデル事業所」69事業所を選定

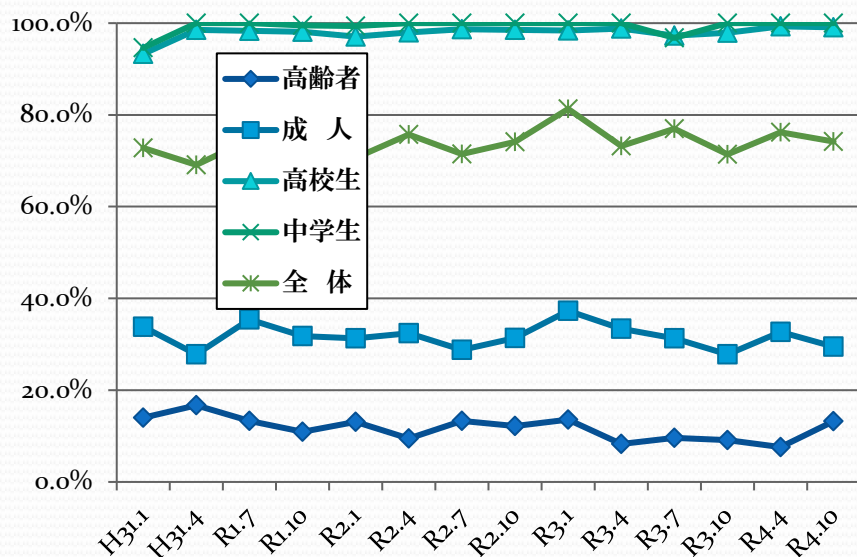
これらの取り組みにより、ヘルメットの着用率は6倍に！

（27.2月調査約11%→28.1月調査約67%）

（今後の取り組み）

- ・「愛媛県自転車安全利用支援店」(37か所)の拡充と浸透
- ・私立高校生及び国立高校生に対するヘルメット購入補助
- ・高齢者自転車乗車用ヘルメット着用推進員の指定

■愛媛県の自転車用ヘルメット着用率の推移



○自転車甲子園

高校生がサイクリングに関する正しい知識や技術を身に着けるとともに、地域の自然環境や文化への理解を深め、サイクリングを通じて、地域の魅力を発見・発信できる人材として活躍することを応援するとともに、地域課題に向き合う活動により、学生・学校が社会的に影響の高い活動をしていることをお互いに認識し合い、県内外へ示していくことを目的とする。

○第4回自転車甲子園

日時：令和6年8月6日（火）

場所：ANAクラウンプラザホテル松山

大街道1丁目

実施内容：道路交通法を基準としたクイズ

実技（ヘルメットの装着、8の字スラローム、

スタンディング2M、20cm×30M1本橋）

地域活動や取組みに関するスピーチ

討論バトル（ながら運転をしないようにするためには？）



3.1 エリア間交流協定等の締結について

◆ナショナルサイクルルートに指定されている「しまなみ海道エリア」の世界ブランド化を目指し、地元市町や民間団体と連携・役割分担の上、サイクルツーリズムの深化に向けた事業を推進することで、しまなみ海道の発展と持続的な地域振興を図る。

橋を核とした「欧米豪」との継続的な「エリア間交流」の推進

来島大橋海峡エリアと豪州ハーバーブリッジエリア間におけるサイクリングを通じた交流（覚書締結）

【概要】

- 覚書締結先：バイシクル・ニュー・サウス・ウェールズ（豪州・シドニー市）
※愛媛県自転車新文化推進協会と締結
- 締結日：令和6年8月22日
※豪州・シドニー市でのトップセールス（観光プロモーション等）実施時に締結
- 覚書の主な内容
ハーバーブリッジと来島海峡大橋を中心とするエリアでのサイクリングを通じた地域間交流や協力に向けた覚書を締結し、今後、緊密に連携していくことを確認。



米国最大のサイクリングイベント主催団体「Bike New York」とサイクリングを通じた交流（覚書締結）

【概要】

- 覚書締結先：Bike New York（米国）、(株)HM-A
※愛媛県自転車新文化推進協会と締結
- 締結日：令和6年10月28日
※サイクリングしまなみ2024への来県時に締結
- 覚書の主な内容 サイクリングを通じた交流促進



3.2 自転車国際会議（Velo-city）の誘致

Velo-city とは、自転車政策決定者、実務者、研究者・有識者、愛好家など（1,000～1,500人規模）が集まり、自転車に関する学術会議として、観光、安全利用、都市計画など様々な議題について議論するとともに、開催市内で自転車パレードなどを行い交流促進を図っている。**欧州**を中心に毎年世界各地で開催。

Velo-city 誘致活動開始

2024年6月 ロビー活動

ベルギー・ヘント市で開催されたVelo-city2024に日本視察団の一員として参加。
ECF（**欧州サイクリスト連盟**）と面会するなど、誘致活動を行った。



2024年9月 誘致申請書（Vid Paper）提出

（概要）愛媛県の自転車施策、知事メッセージ、会場候補地、ホテル、アクセス、国土交通大臣、経済産業大臣、観光庁長官のレターなどを掲載。

2024年10月 PR活動

ECF会長及びCEOを「サイクリングしまなみ2024」へ招待。
大会前後に愛媛県や自転車施策の説明・PRを行った。



愛媛県知事との面会



3.2 自転車国際会議（Velo-city）の誘致

2024年12月 最終候補地に選定・現地調査

例年3都市程度選ばれる候補都市に愛媛県が選定され、12月4日から5日の2日間、ECFのキャロラインVelo-city担当部長他2名が来県し、現地視察が行われた。

（視察内容）

会場候補地
通勤・通学状況
駐輪場
自転車道 など



2025年1月30日 Velo-city 2027 Ehime 誘致決定

2027会議の開催地に愛媛県が選定され、欧州サイクリスト連盟ジルCEOとともに記者発表。
日本では初、アジアでは台北に次いで2回目の開催となる。

【開催概要】

- ・日時 2027年5月25日(火)～28日(金)
(4日間)
- ・場所 愛媛県武道館
(松山市市坪西町551番地)
- ・主催 ECF（欧州サイクリスト連盟）、
愛媛県（実行委員会）



4. Setouchi Vélo協議会について

◆瀬戸内地域及びその周辺地域を、**環境に配慮し安全で快適**な、世界にも認められる「**サイクリングの推進エリア**」に育てることにより、瀬戸内地域等の**ブランド価値の向上**を図り、**持続的な地域振興を実現**することを目的として、令和4年10月に設立。

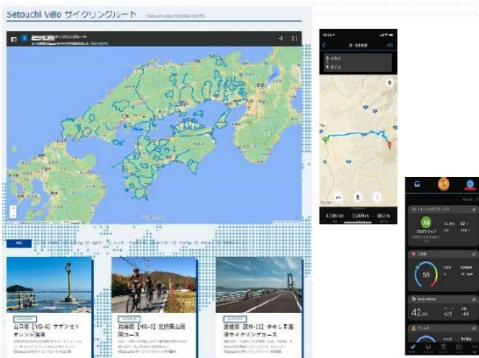
構成団体 兵庫県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
(順不同) 近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、
中国運輸局、四国運輸局、中国経済連合会、四国経済連合会、中国経済産業局、
四国経済産業局、一般社団法人せとうち観光推進機構、
一般社団法人四国ツーリズム創造機構、本州四国連絡高速道路株式会社



ひとつの瀬戸内、それぞれのストーリー。

サイクリングのネットワーク化

瀬戸内地域に存する多数のサイクリングルート
「Setouchi Véloルート」として行政境界を越えて
ネットワーク化し、瀬戸内地域等が広域に連携した
サイクリングエリアとなることを目指す。



Setouchi Vélo HP
(スマートフォンアプリでのナビ機能を導入)

サイクリングの推進エリア化

瀬戸内地域を「日本屈指のサイクリングの推進エリア」として
国内外にPRできるよう、「シェアザロード」を推進するとともに、
老若男女問わず幅広い層がサイクリングを楽しめるよう、
E-BIKEの普及・促進を推進する。

国内外への情報発信

世界に誇るサイクリングルートを有する瀬戸内地域等を国内
外に向けて発信するため、マップやHPの活用やメディア、
DMOとの連携、キャラバンの実施など、各種活動を展開する。



今治ミーティングの開催
(令和5年4月26日)